

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月27日

新潟県知事 殿

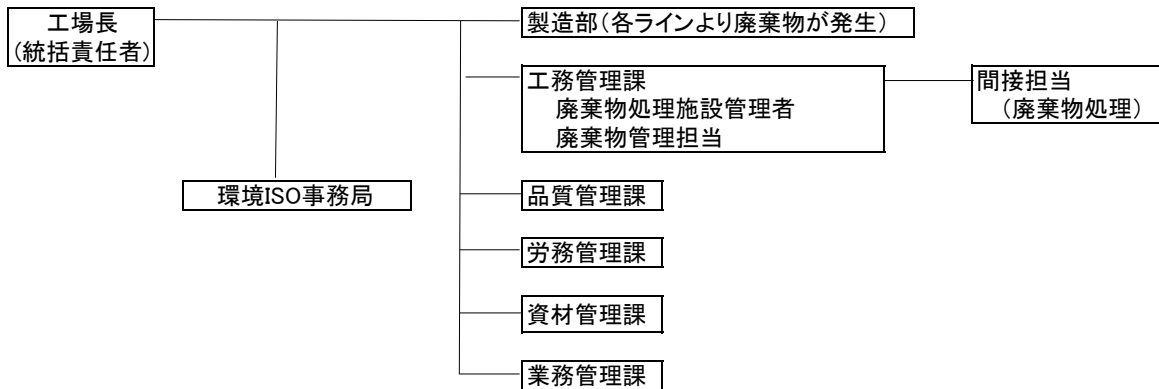
提出者
住所 新潟県柏崎市駅前1丁目3番1号
氏名 株式会社ブルボン
代表取締役社長 吉田 康
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0257-23-2333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ブルボン 村上工場
事業場の所在地	村上市仲間町300番地
計画期間	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	ビスケット類・干菓子製造業
②事業の規模	原料から製品までの菓子製造を行っている 生産量 15,965トン(令和6年度実績)
③従業員数	555名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】		汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶磁器くず	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	排出量	2,150.000 t	0.650 t	129.525 t	420.320 t	0.124 t	0.000 t	2.000 t	0.760 t
(これまでに実施した取組) 1. ISO14001活動を通じて、動植物性残さ(菓子等外品)・廃プラ(包材)の発生率の低減活動 2. コンテナ、パレット等を有価物として搬出 3. 排水処理の負荷を軽減し、汚泥の発生を抑制する									
【目標】		汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶磁器くず	木くず
② 計画	産業廃棄物の種類								
	排出量	2,150.000 t	0.618 t	123.049 t	399.304 t	0.118 t	0.000 t	1.900 t	0.722 t
(今後実施する予定の計画) 1. 菓子屑などは特定された有機物であるため、飼料での利用率を上げ産業廃棄物排出を抑えていく 2. 金属くずは分別を行い資源としてリサイクルできるよう活動する。 3. 菓子生産設備の予防保全に取り組み、故障トラブル時に発生する廃棄物を削減するよう活動する。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	1. 工場内に廃棄物名を表示した回収容器を設置 2. 「ゴミ分別表」及びこの表に対応した「廃棄物置き場配置図」を工場内及び廃棄物置き場に掲示
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	1. 動植物性残さに関して分別を徹底し、飼料としての利用率を上げていく 2. プラスチック等と組み合わされている金属部品は極力解体、分別を行う。 3. ビスケット焼成用敷き紙の残渣汚れの少ない物についてはRPF燃料へのリサイクルへ分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
特になし									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
特になし									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	1,989.850 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
特になし									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	1,989.850 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特になし									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず
		全処理委託量	160.150 t	0.650 t	129.525 t	420.320 t	0.124 t	0.000 t	2.000 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.650 t	114.545 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.760 t
	再生利用業者 への処理委託量	160.150 t	0.000 t	110.675 t	322.390 t	0.124 t	0.000 t	2.000 t	0.760 t
	認定熱回収業者 への処理委託料	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
1. IS014001活動により、工場排水・包材ロス・菓子規格外品の減少化。									

【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	動植物性残渣	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	ガラス、陶 磁器くず	木くず	
	全処理委託量	160.150 t	0.618 t	123.049 t	399.304 t	0.118 t	0.000 t	1.900 t	0.722 t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	108.283 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.722 t	
	再生利用業者 への処理委託量	160.150 t	0.618 t	104.591 t	399.304 t	0.118 t	0.000 t	1.900 t	0.722 t	
	認定熱回収業者 への処理委託料	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)										
1. 排水処理施設の安定化運転を継続し、汚泥の発生を抑制する 2. ISO14001活動により、工場排水・包材ロス・菓子等外品の減少化を進める										
※事務処理欄										

第 7 面	産業廃棄物の一連の処理の工程	について
	・汚泥(廃水処理場から出る余剰汚泥) 自社で脱水処理	→ 処理業者で肥料化
	・汚泥(排水処理場から出る沈降残さ) 処理業者へ委託	→ 脱水処理後肥料化
	・廃油(機械油) 処理業者へ委託	→ 油水分離後、再生油として処理業者が利用
	・廃プラ類(包装フィルム、資材他) 処理業者へ委託	→ 破砕処理後溶融固化による固形燃料化
	・廃プラ類(汚れ廃プラ、設備工事後の廃プラ材) 処理業者へ委託	→ 焼却処理後埋立
	・動植物性残さ(ビスケット種、菓子かす、油脂かす) 処理業者へ委託	→ 発酵処理後肥料化
	・動植物性残さ(菓子かす、油脂かす) 処理業者へ委託	→ 焼却処理後埋立
	・木くず 処理業者へ委託	→ 破砕処理後、燃料化
	・水銀使用製品産業廃棄物 処理業者へ委託	→ 破砕・脱水銀処理
	・金属くず 処理業者へ委託	→ 破砕処理後、再資源化
	・ガラス、陶磁器くず 処理業者へ委託	→ 破砕処理後、ガラス原料として再資源化
	・がれき類 処理業者へ委託	→ 破砕処理後埋立
	・石綿含有産業廃棄物 処理業者へ委託	→ 破砕処理後埋立